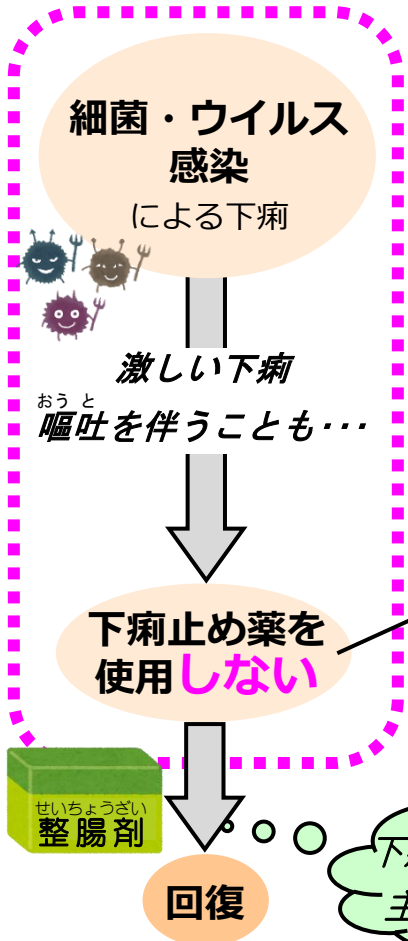


げり 下痢の対処

止めてはいけない下痢

(体にとって必要な下痢)

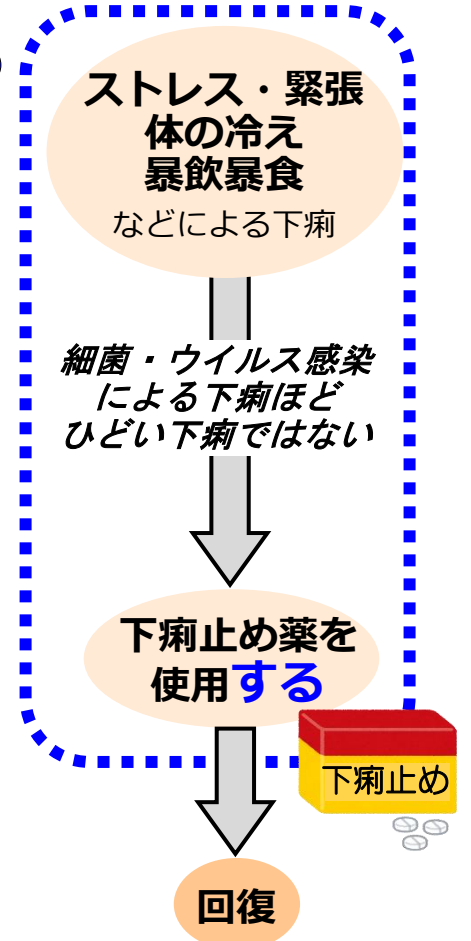


便と一緒に、細菌やウイルスを体外に出す必要があるため

下痢止めの代わりに
主にせいちょうざい
整腸剤を使います

止めてよい下痢

(体にとって不必要な下痢)



止めてはいけない下痢のときは下痢止めを使用しません。下痢を止めてしまうと、細菌やウイルスなどが体内に長時間とどまり、症状が長引いたり悪化したりすることがあるからです。そのため、**自己判断で下痢止めを使用しない**ようにしましょう。

止めてよい下痢のときは反対に、下痢止めを使用します。下痢が長引くと次第に体力が消耗したり、脱水などの危険な状態を招くことがあるからです。

自分の下痢は止めてよい下痢なのか、**分からない人は医師・薬剤師に相談**しましょう。

健康やお薬などについて、気になることがある方は、相談薬局・出張相談会で薬剤師に気軽にお尋ねください。

《 一出張相談会 保健室に学校薬剤師が来ます 》
ドラッグレターの内容、医薬品や健康、薬物乱用などについて、相談・聞きたいことがある人は保健室まで！
11月18日 16時30分～17時30分

作成・発行元 北陸大学薬学部
准教授 大柳寛津夫(学校薬剤師)
講師 岡本晃典(薬剤師)
6年生 村中佑晟・木山美佳

